

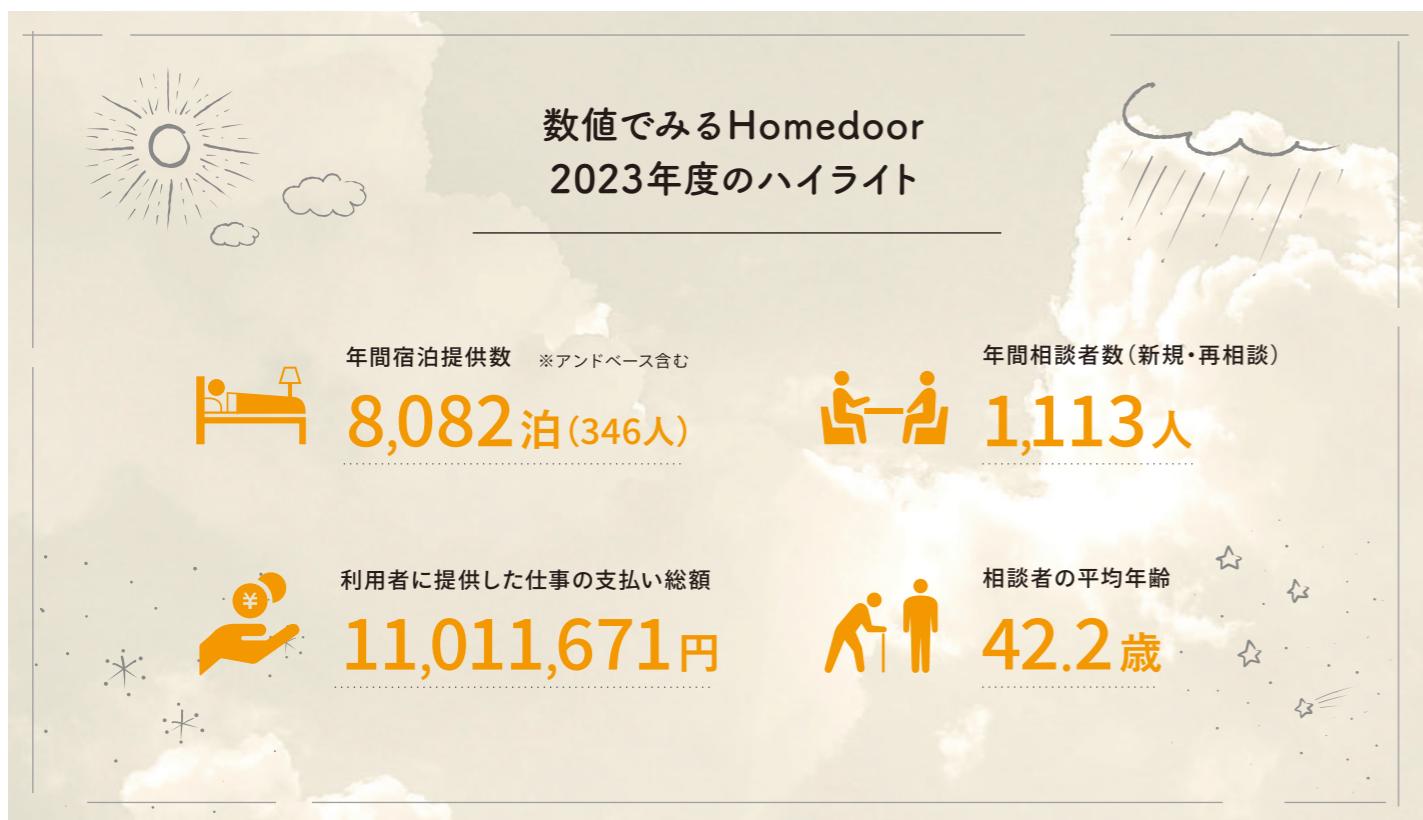
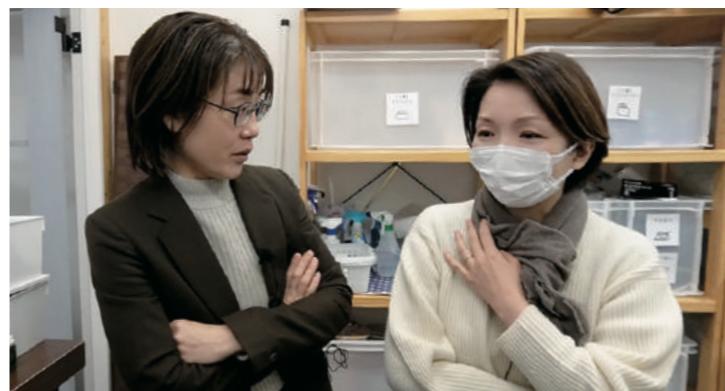
人生のテンキに。



— 特集 —

- ・新施設、本格稼働中！
- ・巻末付録「データでみる Homedoor」

認定NPO法人 **Homedoor**
2023年度 年次報告書



活動開始から13年目を迎えた2023年度、
Homedoorにとって大きな転機がありました。
それは、アンドベースの開設です。

長期滞在ができる24室の宿泊施設を開始するため、
準備しなくてはいけないことだらけで、
スタッフそれぞれがあらゆる方面で奔走した1年でした。

結果として、これまでの体制では受け入れることができなかった足が不自由な方や母子・父子家庭の
受け入れができたり、大阪府知事と大阪市長が
揃って視察に来ていただけたりと、挑戦する前には
出会えなかった景色を見ることができました。

真に必要なことを、着実に取り組んでいく。
初心を忘れず、引き続き邁進していきます！

認定NPO法人Homedoor 理事長
川口加奈

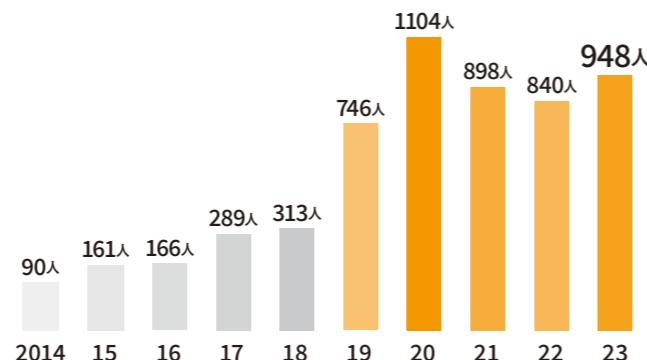
データでみるHomedoor 相談状況の推移と現状

ホームレス・貧困問題の多様化は、相談者の若年化などからも明らかとなっています。

また一度住まいの確保に至った人からの再相談も多く、ホームレス状態から脱却した後の定着支援にも注力する必要があります。

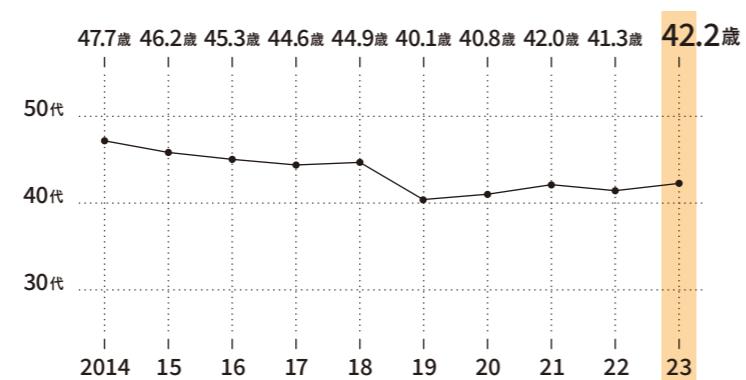
新規相談者数の推移

コロナの影響で相談者が大幅増となった2020年度以降、新規の相談者は減少傾向にあります。しかし、2023年度は再び増加に転じました。



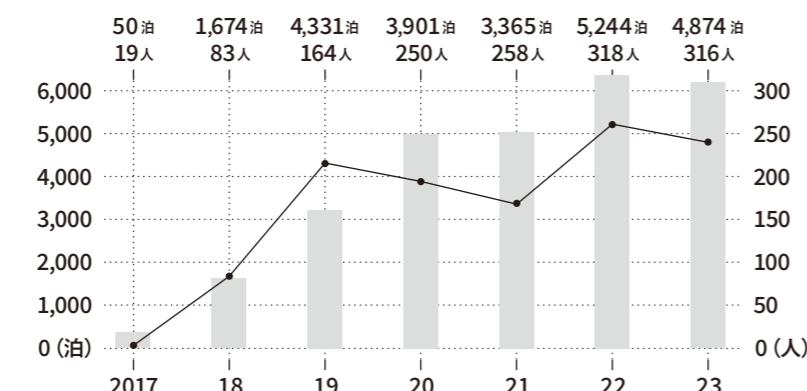
平均年齢の推移

20118年度以降30代以下の相談が全体の4割以上となっており、穏やかではありますが、過去10年で相談者の若年化がすすんでいます。



年間宿泊数、宿泊者数の推移

宿泊者数および泊数はアンドセンターと臨時のホテル手配より算出しています



6つのチャレンジでみる 2023年度のハイライト

相談に至る背景が様々だからこそ、多様な選択肢を用意することが重要だと考えています。

各チャレンジを通じて、生活が安定していくようにサポートを行っています。日々改善点を洗い出し、精度を高めるチャレンジをしています。

届ける



無料インターネット電話を活用した電話相談を開始しました。携帯料金の滞納が続くと通話はできなくなりますが、携帯端末とネット環境があれば通話可能なシステムを導入し、電話代をかけずに電話相談ができるようになりました。その結果、メールだけでは状況が理解しにくい方ともスムーズにコミュニケーションが取れることが増えました。

選択肢を広げる



相談者に一層多様な選択肢を提供できればという思いから、2023年度より初相談者に向けてより丁寧に公的な支援や既存の制度の説明も行うようになりました。制度への誤解を解くきっかけになる一方、相談者の多くが抱えているニーズが明らかとなり、真に必要な制度や理想の施設を考える契機ともなりました。

暮らしを支える



アンドセンター利用者・宿泊者向けに『ホムド文庫』の充実を図りました。これまで小説やマンガは置いていたのですが、新たに『人生を変えた一冊キャンペーン』を行い、寄贈者の心の支えとなった本を Homedoar の団らんスペースに置くようにしました。「じゃりん子チエやん！」と懐かしそうに読む光景にはほっこりしました。

働くを支える



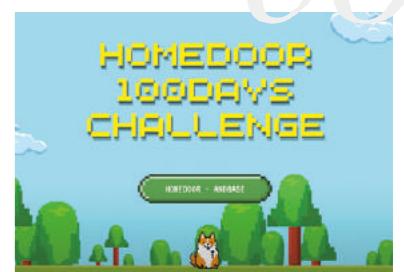
身分証や携帯電話がなくてもできる仕事を増やしたいという思いから、新たにUR都市機構さまより団地の駐輪場管理の仕事を受託しました。今回をきっかけに17人へ新規で仕事の提供ができました。部屋でできる封入作業、自転車を動かす作業など複数の仕事があったことで、それぞれの状況に応じた仕事の提供ができました。

再出発に寄り添う



滞納などにより携帯電話の新規契約が難しい人でも Homedoar の事務所で携帯電話の契約ができるように『誰でもスマホ』との業務提携を開始。これにより衣食住に加えて携帯電話を即日で提供できるようになりました。ホームレス問題と「通信の貧困」を同時に解消する新たな支援スキームを実現しました。就職活動がしやすくなったとの声も！

伝える



Homedoor の日常や新施設・アンドベースについて YouTube で連続100日間、動画や写真を投稿する『100日チャレンジ』を実施しました。施設利用者・協力企業の皆さんにもたくさんご協力いただき、Homedoor の笑いあり波乱ありのリアルな日常をお届けできたのではと思います。ぜひご覧いただけたと嬉しいです！

アンドベースはプライバシーを保つつつ、入居者同士が関わり合える設備が揃っています!



アンドベースは、様々な相談者を受け入れるインクルーシブシェルターです!



若年層の相談者

Homedoorへの相談者の約半数が、10~30代の若年層です。その特徴として、生育環境に課題があったために、非正規雇用を転々としている人が多いという調査結果が出ています。『実家』というセーフティネットの欠如は、経済面だけではなく、精神面にも大きな不安となります。アンドベースでは、そういった若者を対象に、長期間滞在が可能な就労支援付き宿泊施設を提供します。



母子などのファミリーでの相談者

セキュリティを高めた女性・母子専用フロアを設置し、様々な理由で単身・母子での生活を余儀なくされた人たちの受け入れを新たに開始します。既存の行政シェルターには様々な制限（一緒に入居できる子どもの年齢や人数、携帯電話などの所持禁止、外出制限、通勤や通学ができないなど）があり、共同生活となります。このため、シェルターへの避難を諦めてしまう人も多くいます。アンドベースでは、当事者のニーズに合わせて柔軟に対応し、『断らない支援』を展開していきます。

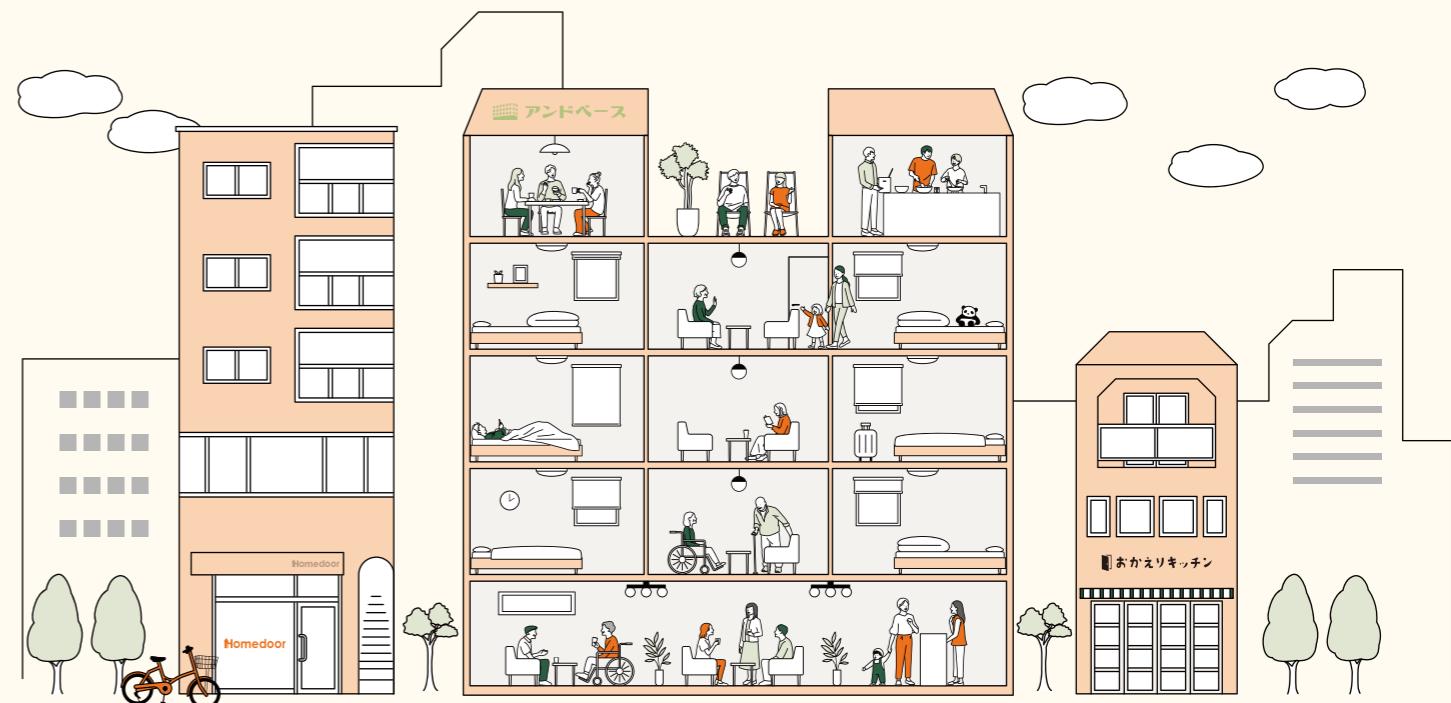


高齢や障害が理由で介護などの支援が必要な相談者

既存のシェルター『アンドセンター』では、せまく急な階段しかないと、歩行が困難なホームレスの人々の受け入れが難しいという課題がありました。そこで、アンドベースはエレベーターを設置。障害者や高齢者も幅広く受け入れることができます。基本的な生活支援の提供はもちろん、本人の希望に応じて、連携している医療機関での受診や障害者手帳の取得、福祉サービスの利用を調整し、地域でのひとり暮らしができるようにサポートします。

困窮状態に陥った多様な層を受け入れる
インクルーシブシェルター『アンドベース』

新施設、本格稼動中!



2023年、新施設『アンドベース』が始動!
貧困と孤立状態にある人に選択肢と居場所を届けます。

2010年に活動を開始した認定NPO法人Homedoorでは、
ホームレスの人々を対象に路上脱出のための支援を行ってきました。
ところが、活動を続けるなかで、ネットカフェや友人宅を転々としている若者や、
家賃滞納で家を出ないといけないファミリー世帯、国籍や障害、
年齢が理由でひとり暮らしが困難な人といった相談者層の広がりを感じました。

自分の状況・特性を踏まえながら就労支援を受け、ゆっくりと将来を考えられる機会。
家族で不安を感じることなく過ごしてもらえる個室シェルター。
多様な層が交わりながら、次のステップへと歩みだせるスペース。
そんな場所が必要だと感じました。

そして誕生したのが、インクルーシブシェルター『アンドベース』です。

 アンドベース

人生の再出発を応援! アンドベースができるまで

2015年より、生活困窮者へのシェルター運営を始めた Homedoors。年々増していく宿泊ニーズと多様化する相談者のニーズに対応すべく、この3年ほど物件探しを続けていたところ、全ての条件に合致する元ホテルの物件に出会いました！

4月:ついに物件を購入!
ついに物件を購入しました!嬉しさがありつつも、融資を受けるのは初めてだったので戦々恐々です…。



5月:開始早々、はじめての入居者が!

過労によりうつ病になった20代の方で、就労支援を提供しながら本人のペースで家探しのサポートをすることができました。「小学生の頃に母親が離婚していないなり、高校に上がる前に父親が病気で亡くなり、親戚に引き取られるも頼りにくかった。今後は、簿記の資格を活かして働きたい」とテレビの特集で語られていました。



100日チャレンジ
12月:100日チャレンジ、スタート!
100日後に完成するホームレス支援施設として、『アンドベース100日チャレンジ』をスタートしました。YouTubeのHomedoor公式チャンネルで、改修工事の様子をお伝えしました!



12月:100日チャレンジ、スタート!
100日後に完成するホームレス支援施設として、『アンドベース100日チャレンジ』をスタートしました。YouTubeのHomedoor公式チャンネルで、改修工事の様子をお伝えしました!



改修工事の様子はコチラ

3月:改修工事が終了、本格オープン!
改修工事が終了し、団らんスペースや相談室、女性専用フロアのキッチンなどが完成し、本格オープンをすることができました!

6月:入居者が約38人に!



5月:大阪府知事、大阪市長が視察に!

吉村大阪府知事と横山大阪市長が揃って、アンドベースの視察に来られました。全室個室で綺麗なアンドベースに非常に驚かれていました。



4月:セミナールーム完成!

株式会社インテオフィスさまをはじめとする企業さまからのご協力で、ほぼ寄付で家具を集めることができました。その結果、セミナールームが完成し、早速就労支援セミナーや金銭管理セミナーを開催できるようになりました。



講座の様子は
コチラ

Information - 活動を応援してください

アンドベースを支える3,000人のサポーター絶賛募集中!

アンドベースの運営のためにはランニングコストとして月300万円が必要です。
1口1,000円/月~のご寄付で、Homedoorの新たな取り組みを応援してください。



特設サイトは
コチラ

アンドベースの原点は、夢の間取り図から

「どんな状況に陥ったとしても、あそこに行けばなんとかなる」そんな場所を目指して、理事長の川口が高校生の頃に描いた夢の間取り図。アンドベースも、ここからスタートしました。



団体の沿革は
コチラ



Voice - 利用者の声

これまで一人で悩み同じ失敗を繰り返していましたが、アンドベースに住んでから Homedoors のスタッフさんと話し合いながら生活基盤を整えて、医療や福祉との繋がりも増えました。アンドベースに住んでよかったところは、①必要な情報を知れること、②すぐにスタッフに相談できること、③住みやすく自炊もしやすいこと、④入居者をはじめいろいろな人とお話しできること、です!

ゼットさん(仮名) / 入居者・30代

選択肢を広げる

Challenge



家族からの暴力など、安心できる生活の経験が少ない相談者は働いて自立する以外の選択肢を知らないこともあります。まずは不安を受け止め、公的制度や民間団体の取り組みを丁寧に紹介し、それぞれにあつた選択肢を相談者と一緒に探っています。

アンドベースで広がる可能性！
アンドセンターは短期間で新たな住まいを確保できる利点がある一方、時間をかけた支援が必要な人も一旦は一人暮らしに移行せざるえない課題がありました。2023年度はアンドベースによって「じっくり就職活動をしたい」「アンドベース滞在中に障害福祉制度の利用手続きしたい」といったニーズに応えられるようになってきました。自炊の練習や金銭管理もサポートできるようになり、支援の幅が大きく広がりました。

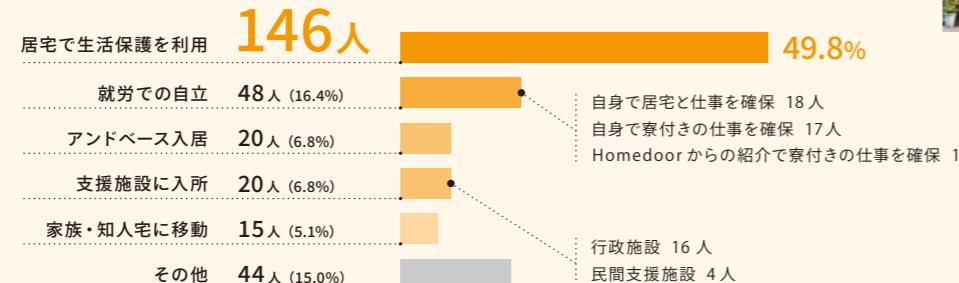
Voice - スタッフの声

相談との面談時に「アンドセンターを出た後が不安なんです」という声を聞くことも多く、アンドベースでの長期的な支援を選択肢として提案できることは、支援する側にとっても大きな安心感がありました。

永井 悠大 / 相談部門長



データでみる2023年度の活動成果 …… アンドセンター宿泊後の経過 N=293



初回相談



シェルターの提供



他機関との連携



ジモティーでのアウトリーチ
毎月行っているお弁当つき相談会をウェブ情報掲示板『ジモティー』で広報したところ、地域で暮らす家族世帯や女性の来所が増えました。ある女性相談者は「これまで支援団体のウェブサイトやSNSを見たことはありませんでした」と語っており、様々な媒体で情報提供する必要性を感じました。

無料インターネット電話の導入

Homedoor のウェブサイトの相談ページより、ワンクリックで利用できるインターネット電話を導入したことで、メールでしかやりとりができなかつた相談者の状況も詳しく把握できるようになり、より早くより適切な支援情報を伝えることができました。



相談会の様子はコチラ

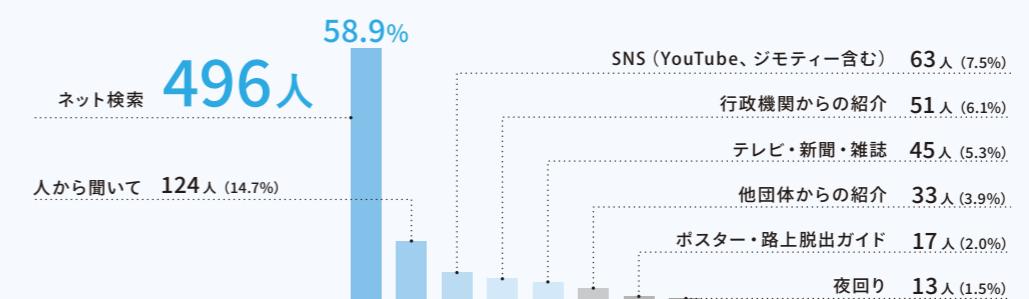


Voice - スタッフの声

無料インターネット電話の導入により、ある相談者は「所持金が尽きて途方にくれていた時に Homedoer のウェブサイトから電話をかけることができてとても安心しました。メールだけだったら諦めていたと思います」と語ってくれました。海外の相談者からインターネット電話がかかってくることもあります。より多くの人と繋がれるようになった手応えがあります。

松本 浩美 / 事務局長

データでみる2023年度の活動成果 …… Homedoerを知ったきっかけ N=842



路上生活者は年々減少傾向にあります。変化する相談者層に柔軟に対応するため、多様な方法でのアウトリーチを行っています。

届ける



店頭ポスター



WEB広告バナー



昼回り/夜回り

暮らしを支える

Challenge



おかえりキッチン

2021年6月にオープンした『おかえりキッチン』。相談者への無料での食事提供は続けつつも、飲食店特有の課題にぶつかった1年でした。集客アップのため、メニュー開発にも力を入れたり、就労支援としてアンドベース利用者を雇用したりと様々な挑戦をしてきました。

食事から、暮らしを支える。
フレンチパンから届けられた食材を活用し、キッチンスタッフたちの工夫でおいしい食事をつくっています。2023年度は人員の補強を行います。一人ひとりのアレルギーや好き嫌いもスタッフが把握し、食べられない食材は避けてくれたり、こつこつカレーに混ぜて提供してくれたりすることもありました！



Voice - スタッフの声

皆さまからのご寄付により、健康的な食事を安定的に提供できるようになりました。滞在中はもちろん、アンドセンターから引っ越された後も、おにぎりづくりや店内の清掃ボランティアに来てくださる方も多いです。また、おかえりチケットの利用や一般客としてランチに来られ、近況報告してくださる卒業生との交流が日々絶えません！

山本幸恵 / キッチンスタッフ



おかえりキッチンの一日密着はコチラ



野球チケットプレゼントも実施！



お餅を食べる会の様子はコチラ



ホーム文庫で漫画も読みます

News

J.P.モルガンさまよりアンドセンター・アンドベース入居者向けにクリスマスプレゼントをいただきました！本人のリクエストしたプレゼントを購入いただける仕組みで、本当に欲しいものをお供することができました。



どんな状況の人でもほっとできる居場所を目指して、団らんスペースの開所や食料・衣料の提供、シャワールームや洗濯機の設置をしています。ホームレスの人、アンドセンター宿泊者、元相談者など、様々な状況の人たちが集います。

データでみる2023年度の活動成果 …… おかえりキッチンの利用状況



提供食数
2,141食

おかえりチケット配布総数
464枚



くおかえりチケットく
アンドセンター・アンドベース利用者に渡している、退去後に無料で食事やドリンクを利用できるチケットです。

データでみる2023年度の活動成果 …… アンドセンターおよび各設備の利用状況



年間利用者数
のべ 2,292人

シャワー・洗濯機利用数
のべ 677人



居場所づくり



健康サポート



食堂の実施

HUBchari

2011年にスタートしたシェアサイクル『HUBchari』。開始当初は拠点数がなかなか増えずに苦戦しましたが、今では収益の柱として、そして当事者雇用ができる貴重な場として活躍しています。



バッテリー交換の様子



皆さんが便利で快適に利用できるように管理します



交換隊の様子はコチラ

バリエーションに富んだ仕事提供
サービス利用者増にともない、新ポートの設置、バッテリー交換、自転車の再配置業務など、仕事の種類や量が増えています。自主事業で職員とのコミュニケーション頻度も高いため、次の就職に向けてのステップの役割も担っています。2023年11月には大阪市24区と連携協定も締結し、移動の利便性向上、CO₂削減、放置自転車対策、環境対策や健康増進のための取り組みも開始し、大阪・関西万博に向けて認知度向上にも注力していきます。



Voice - 利用者の声

Homedoorに相談に行き、家を借りましたが、運転の経験を活かして、現在は再配置の業務を行っています。並行して、就労支援員と相談しながら新しい仕事先を探しているところです。継続して就ける仕事を探したいと思っています。

橋爪さん（仮名） / 再配置スタッフ

Information - 利用案内



バイクシェア

Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード

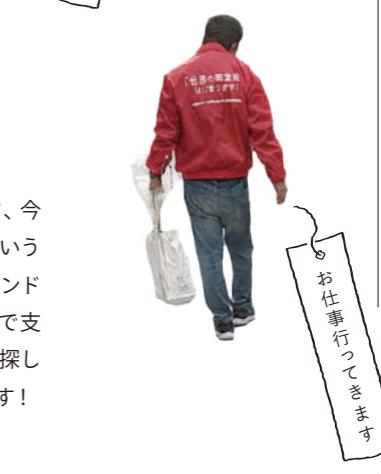
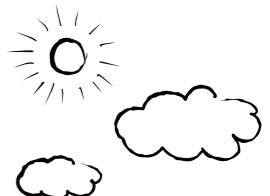
バッテリー交換隊による交換本数
11,782 本

お支払い給与総額
8,477,408 円

データでみる2023年度の活動成果 HUBchariの利用に伴う支援状況



HUBchariの自転車



Challenge

HUBchari関連の作業や内職の提供、活動に賛同いただいた企業さまからの求人を供しています。相談者の困りごとや希望をもとに就職後も面談などをを行い、仕事が継続できるようにサポートしています。

有料職業紹介を本格スタート！
一般的な有料職業紹介とは違い、保証人がなくともOK、薪水がなくてもOK、数か月の生活費がなくてOKな求人を開拓し、一人ひとりの「やつてみたい」に寄り添っています。やっと1件成立しましたが、まだ開拓不足です。「こんな仕事をしたい」と言われた時に提案できるよう、協力企業を開拓していきます。



Voice - スタッフの声

ホームレス状態になると頼る相手もおらず、今すぐできる仕事に飛びついでは離職するということを繰り返してしまう傾向にあります。アンドベースができたことで、生活と仕事の両方で支援ができ、時間をかけて自分に合った仕事探しを進められるようになったことは画期的です！

荻野直基 / アンドベース施設長



有料職業紹介契約企業（新規）

5 件（累計 5 件）



求人件数（新規）

12 件（累計 105 件）



新規仕事提供者数（新規）

114 人



仕事の提供



一般就労移行



金銭管理サポート

データでみる2023年度の活動成果 仕事につなげる施策の状況

05 再出発に寄り添う

Challenge

シェルター退所後の生活ができる限り相談者の希望に適うものとなるよう、再出発の支援をしています。理解ある不動産との連携や仕事の新規開拓を強化し、引っ越しした後に相談しやすい仕組みづくりにも取り組んでいます。



『誰でもスマホ』はじめました!
携帯電話が料金滞納で解約となつた場合、大手携帯会社では再契約が難しいのが現状です。しかしこの度、通信困難者支援に取り組む株式会社アーラリンクさまが提供するサービス『誰でもスマホ』をHomedoctorでも契約できるようになりました。必要な身分証と初期費用さえあれば、その場でスマートフォンのお渡しが可能となりました。携帯電話があることで、居宅確保や就労先の選択肢も広がります。



アンドセンター開設から6年が経ち、再相談の方が目立ち始めています。『困ったら相談できる場所』と覚えてもらっていることを嬉しく思いつつ、何度もやり直せる社会づくりという理念に立ち、チャレンジを重ねています。

浦越有希 / アンドセンター施設長

データで見る2023年度の活動成果 …… 生活基盤を整える施策の状況



＜再相談の定義＞
①最初の主訴への対応が終結したものの相談
②最初の相談が途中で途切れたのち3か月以上経過してからの相談



引っ越し見守り



就労定着



卒業生サポート

高校生の頃、テレビでソーシャルワーカーについて取り上げた番組を見たこと。それまで貧困問題に関心があったが、職業として関わることができると知ることができた。



私は、Homedoctorに相談し生活のサポートをしていただきながら、タクシードライバーの求人に身元保証人がいなくても応募できるように取り計らっていただいたことが人生プラスの転機です。



ゴウキさん /
元アンドベース
入居者

今が最大の転機。手厚い支援が今までなかったから路頭に迷っていたが、Homedoctorをはじめ、いろいろな人が協力してくれて今があることが感謝無量。



モロボシさん /
元アンドベース
入居者

私は、Homedoctorに出会えた事が1番の人生の転機です。帰る場所も仕事もない状況から、今は仕事もして帰る場所もあります。これからはそういった状況の人を支えたいです。



ナガタニさん /
アンドベース入居者

特集

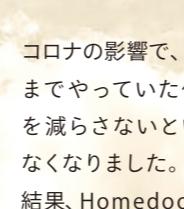
あなたの テンキは?

スタッフ、相談者の皆さんにとっての、「人生の転機（テンキ）」を聞きました。



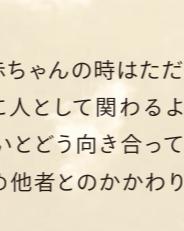
岡村 / スタッフ

映画『ショーシャンクの空に』を見て、どんな大変な状況でも諦めずに頑張ろうと思うようになりました。



石黒 / スタッフ

コロナの影響で、それまでやっていた仕事を減らさないといけなくなりました。その結果、Homedoctorで働くことに！



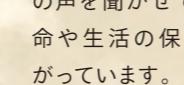
子育て。赤ちゃんの時はただただかわいいですが、徐々に人として関わるようになると、性格や考え方の違いとどう向き合っていけばいいのか、子どもも含め他者とのかかわり方を教えてもらいました！



Homedoctorの夜回りの日に、いくつか偶然が重なって、川口さんに声をかけてもらうことになったんですけど、それが今の私の生活につながる転換点だったかなと思います。

浦越 / スタッフ

高校生の頃に東日本大震災の被災地を訪問したこと。実際に被災地を見て現地の方の声を聞かせていただいた経験が、人の命や生活の保障を考える今の仕事に繋がっています。



森本さん（仮名）/
元相談者

高校を中退し大検（現高卒認定）取得を経て大学に進学したこと。選択肢があつたことで自分の可能性が広がった体験が、情報提供で誰かの役に立ちたいという仕事選びの動機となりました。



谷野 / スタッフ

大学2年生の夏休みに語学研修でハイイを行ったことです。そこで現在のパートナー（妻）と知り合いました。



永井 / スタッフ



子育て。赤ちゃんの時はただただかわいいですが、徐々に人として関わるようになると、性格や考え方の違いとどう向き合っていけばいいのか、子どもも含め他者とのかかわり方を教えてもらいました！

亀井 / スタッフ

工業高校に行きましたが、アトピーが酷く「製造の仕事は無理だ」と思ったとき、友人に誘われたボランティアに参加したのがこの業界に入るきっかけでした。友人の説いがあったから今があると感謝しています。



荻野 / スタッフ

工業高校に行きましたが、アトピーが酷く「製造の仕事は無理だ」と思ったとき、友人に誘われたボランティアに参加したのがこの業界に入るきっかけでした。友人の説いがあったから今があると感謝しています。

会計報告 — いただいたご支援を大切に活用しました

活動計算書 (13期:2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位:円)

		12期	13期	前年度比
経常収益	受取寄付金 受取寄付金	80,522,337	78,760,106	98%
	資産受贈益	0	3,295,400	-
	受取助成金 受取助成金・補助金	5,032,467	124,500,392	2,474%
	事業収益 事業収益	143,864,353	163,475,812	114%
	受託事業収益	8,261,008	16,272,332	197%
	その他収益 受取利息・雑収益	21,431	1,713	8%
	経常収益 計	237,701,596	386,305,755	163%
	事業費 1. 人件費	51,580,121	63,860,574	124%
	臨時雇賃金	9,046,277	9,224,418	102%
	2. その他経費 業務委託費	1,512,212	1,941,873	128%
経常費用	印刷製本費	1,296,019	884,083	68%
	旅費交通費	2,452,503	1,933,854	79%
	通信運搬費	1,497,139	1,716,455	115%
	消耗品費	9,185,258	14,178,614	154%
	修繕費	220,500	1,321,375	599%
	水道光熱費	2,880,739	4,519,330	157%
	地代家賃	8,775,600	8,775,600	100%
	減価償却費	2,521,825	9,570,236	379%
	租税公課	7,955,830	19,267,400	242%
	支払手数料	68,025,825	96,540,610	142%
	その他	6,032,488	4,891,686	81%
	その他経費 計	112,355,938	165,541,116	147%
	管理費 1. 人件費	2,633,393	2,747,716	104%
	2. その他経費	2,865,841	2,512,608	88%
	経常費用 計	178,481,570	243,886,432	137%
経常外収益		0	0	0.00%
経常外費用		0	0	0.00%
法人税、住民税及び事業税		1,772,700	1,426,800	80%
当期正味財産増減額		57,447,326	140,992,523	245%
前期繰越正味財産額		213,387,561	270,834,887	127%
次期繰越正味財産額		270,834,887	411,827,410	152%

総会で承認を受けた財務諸表を一部金額をまとめて表示しています。

この活動計算書は会計帳簿の記載金額と一致し、
特定非営利活動法人Homedoorの活動を正しく示していることを認めます。



顧問税理士
准認定ファンドレイザー
中山 麻衣子



Homedoor
監事
杉浦 元

皆さまからのあたたかいご寄付や助成金
など活動資金を大切に管理しています。



Homedoor
経理担当
亀井

Homedoorは、多くの企業さまから応援いただいています

A D A S T R I A
Play fashion!

株式会社アダストリア

For Wonderful Life
Itoman

イトマン株式会社

interoffice

株式会社インターフィス

The Quality Sleep
airweave

株式会社エアウイーヴ

99大阪ガス

大阪ガス株式会社



kit well

株式会社キットウェル

COSTCO WHOLESALE

コストコホールセールジャパン株式会社

sangetsu

株式会社サンゲツ

sanwa company

株式会社サンワカンパニー

SEA SYSTEM

シー・システム株式会社

J.P.Morgan

J.P.モルガン

JINS

株式会社ジンズ

Daiwa Lease

大和リース株式会社

直送鮮魚と旨い酒。
旬菜鮮魚てつとう

てつとうソーシャルプロジェクト

DOSHISHA CORPORATION

株式会社ドウシシャ

DR.BRONNER'S ALL-ONE!

ドクターブロナー

NII
Nippon Information and Communication

日本情報通信株式会社

Misawa & Co., Ltd.

株式会社ミサワ

LOGICAL ARTS

ロジカル・アーツ株式会社

その他にも、個人・法人の皆さんから、
あたたかいご支援をお寄せいただきました。

スタッフ一同、心より御礼申し上げます！



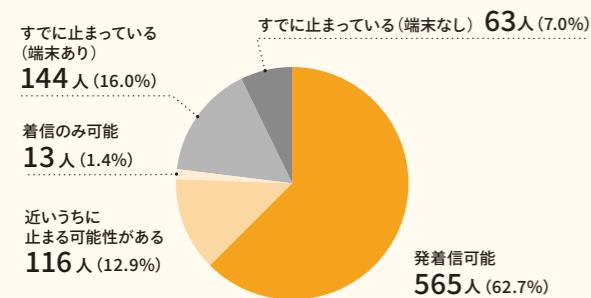
アクサ・ホールディングス・
ジャパン株式会社
代表取締役社長兼CEO 安済 聖司さん

Homedoorは問題を原因から捉え、着実に解決する

どんなNPO活動を支援したいか?それは、社会の問題を原因から捉えて対策を取り、着実に解決していってくれる動き、それがまさにHomedoor。ホームレス状態にならない予防、なった時の社会復帰、そしてホームレス問題への偏見払拭の啓発、これらを全てやってくれていて、アンドベースという素晴らしい施設も確保。これからも寄付してサポートします!皆さんも、是非仲間になってください!

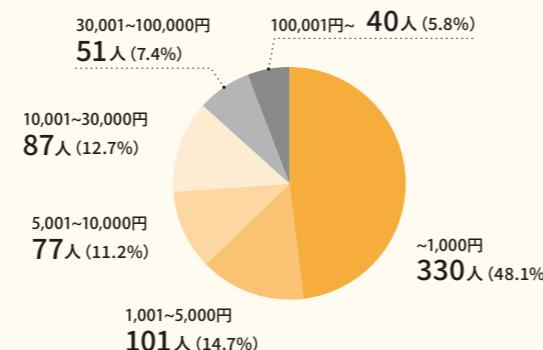
もつとデータでみるHomedoor ホームレス支援の現状について

携帯電話の状況 N=901



端末所持の割合は9割に上り、情報収集・連絡手段の重要性が伺えます。

所持金 N=686

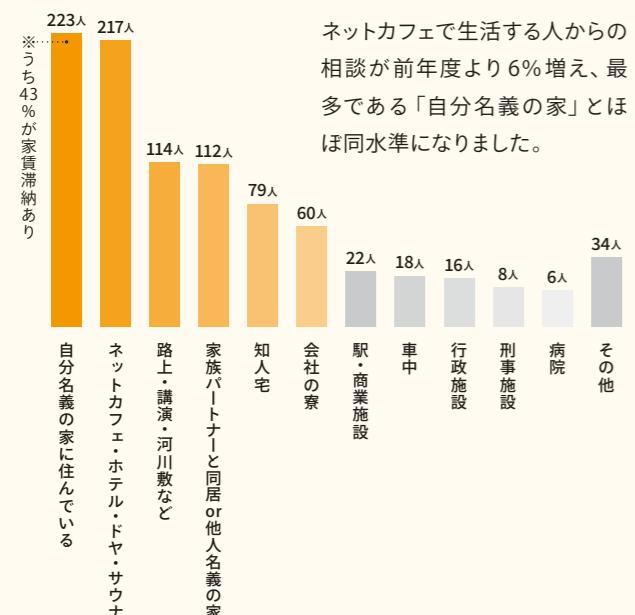


その日の宿泊費にも満たない1000円未満の所持金の人が全体の約半数を占めました。

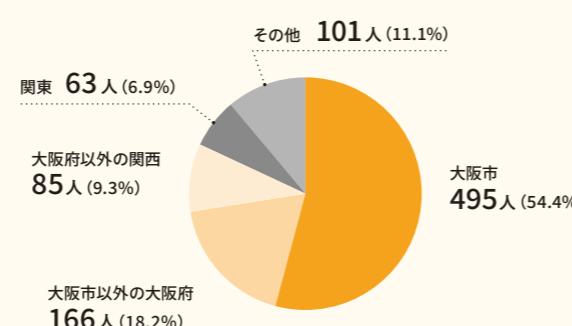
ホームレス・貧困問題の多様化は、相談者の若年化や家はあるものの家賃滞納に苦しむ人の割合などに表れています。また一度住まいの確保に至った人からの再相談も多く、ホームレス状態から脱却した後の定着支援にも注力する必要があります。



相談時の起居の場

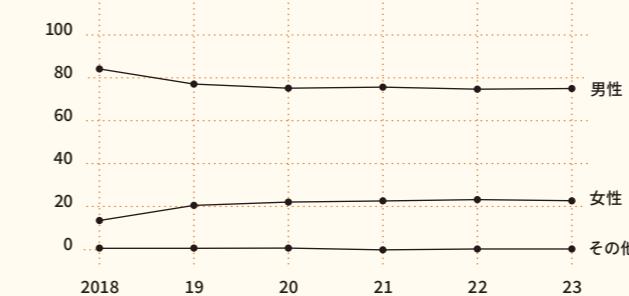


相談時の居所 N=910



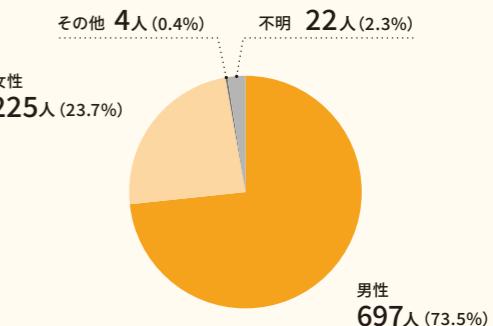
活動拠点である大阪市内からの相談が半数以上を占めつつ、41の都道府県から相談がありました。数件ですが海外からの相談もありました。

性別割合の推移



近年は横ばいですが、5年前に比べて女性の割合は10%近く増えました。

性別 N=948

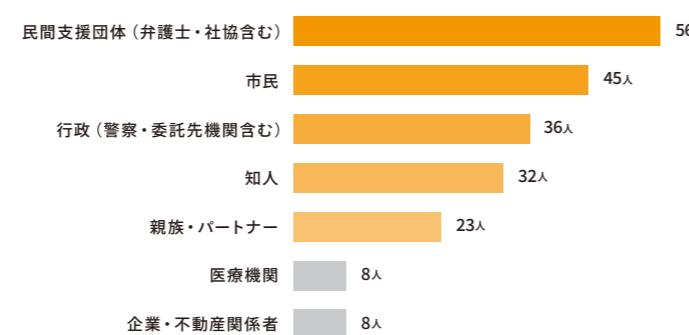


前年度同様、女性の相談が約4人に1人の割合となっています。

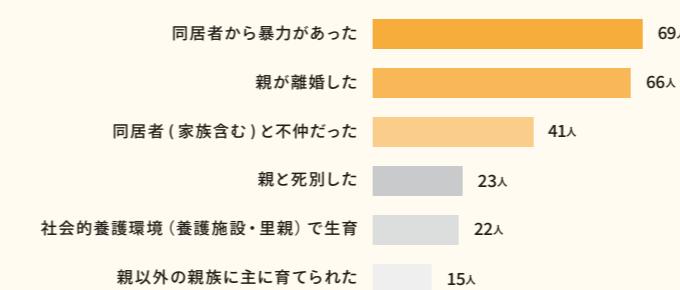
情報提供・本人以外からの相談数(相談元)

208件

他機関との連携がすむことで、民間支援団体や行政から相談者の受け入れに関する問い合わせが多くありました。

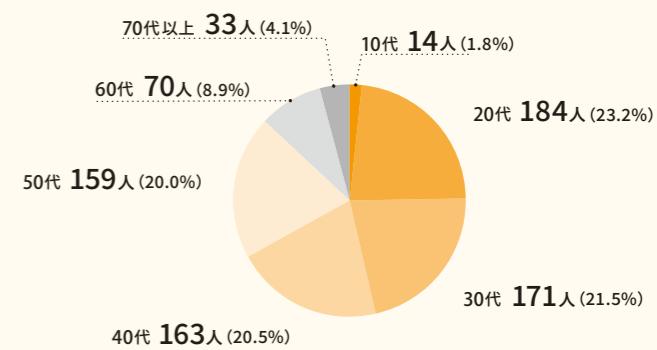


若年層(10~30代)における出身家族の家庭環境



複雑な家庭環境で育った人が多く、困窮時に家族を頼るということが難しい人が非常に多いです。

年代の割合 N=794



30代以下が全体の4割を占め、全世代で20代が最多でした。若年化傾向に変わりはなく、頼れる親族のいない若者からの相談が目立ちました。

Homedoorのチャレンジを、寄付で応援してください！



3,000円/月で

年15人が、生活についての
初回相談を受けられます。

5,000円/月で

年12人が、安心して過ごせる場所で
ゆっくり寝泊まりできます。

10,000円/月で

年10人が、就労支援など次の生活に
向けた支援を受けることができます。

**Homedoorへの寄付は、
寄付金控除の対象で、最大40%が戻ってきます。**

サポーター会員になる（継続寄付）

1日30円から継続的にサポートできます。サポーター会員の皆さんには
会員カードなどのサポーターセットをお送りします。

クレジットカード決済で

ウェブサイトから簡単にお手続きできます。

<https://www.homedoor.org/andbase/>



口座振替で

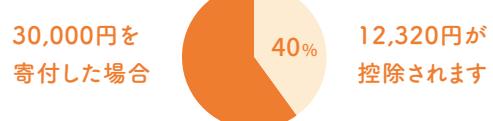
お電話またはメールをいただければ、
口座振替申込書をお送りします。

📞 06-6147-7018

✉️ info@homedoor.org

住民税と所得税が、税控除の対象に

認定NPO法人への寄付には税控除の対象になります。確定申告で、寄付額の約40%が所得税と住民税から控除されます。（例）年間30,000円の寄付をした場合、12,320円が控除になります。



所得税 $(30,000 \text{ 円} - 2,000 \text{ 円}) \times 40\% = 11,200 \text{ 円}$
住民税 $(30,000 \text{ 円} - 2,000 \text{ 円}) \times 4\% = 1,120 \text{ 円}$

Homedoor

ホームレス状態を生み出さない日本に

認定NPO法人 Homedoor Annual Report 2023

2023年度 年次報告書

所在地 〒531-0074 大阪府大阪市北区本庄東1-9-14

問い合わせ先 06-6147-7018 / info@homedoor.org

設立 2010年4月（2017年1月 認定NPO法人に認定）

ビジョン ホームレス状態を生み出さない日本の社会構造をつくる

役員 理事長 / 川口加奈、理事 / 松本浩美、理事 / 竹原啓二、理事 / 岩田真吾、監事 / 杉浦元

スタッフ 事務局スタッフ12名、おかえりキッチンスタッフ5名、ボランティア登録者2,289名、相談ボランティア44名

hjem www.homedoor.org f 認定NPO法人 Homedoor ✉ @Homudokun n npo_homedoor h homedoor